

あとがき

筆者は現在、日本泌尿器科学会・日本病理学会・日本医学放射線学会による三学会共編の『泌尿器科・病理 前立腺癌取り扱い規約』第4版(金原出版)の病理編担当の委員長として、ほかの5名の病理系委員とともに、来年刊行を目指した改訂作業を進めているところである。約10年ぶりの改訂だが、前世紀末に比べても、前立腺癌の診断・治療には大きな変化がみられる。

前立腺癌の最終検査である針生検組織診は今日では十数片ないし20片程度の検体採取が行われる。つまり、その片数分だけ繰り返し前立腺に針が穿されるわけである。筆者はすでに前立腺癌“適齢期”に突入して久しいが、これまで何となくPSA検査を敬遠してきた。しかし、今年は一念発起して検査を受けたところ、値は低く、胸をなでおろしたところである。この安堵感には、ただ単に癌ないしその可能性の宣告を免れることができたということのほか、あの生検をとりあえず逃れることができたという気持ちも含まれている。しかし、このPSA測定はこれからも適当な間隔において受け続けることになるが、検査結果を待つたびごとに同じ思いをしなければならないのかと思うと気が重くなる。ところで10年ほど前は“6箇所生検”といって、6片の組織を採取するのが一般的であり、それでも随分、採取片の数が多い大変な検査だと思っていたが、現在は前述の様にその2~3倍の片数が採取される。時代とともに侵襲性を増し、患者の苦痛度が高まるとは、検査としては珍しい部類に属するのではないだろうか。

針生検組織診に準じる検査/診断として、かつて穿刺吸引細胞診(fine needle aspiration: FNA)が一世を風靡していたことがある。穿刺針が細いので、無麻酔状態で経直腸的に検体採取が行えるというものであった。新鮮な状態で検体が得られるために、変性によるバイアスが加わらないという利点もあったが、今日の泌尿器科診療の現場が望んでいるグリソン分類に全く対応できず、廃れてしまった。しかし、患者の立場からすると、この低侵襲性のFNAが復権し、最終診断の役割を再び担ってくれば大いなる福音である。そのためには細胞診関係者に、是非とも細胞所見からグリソン・スコアを推定する新たな診断体系を確立していただきたいと願っている。(坂本穆彦)

バックナンバー 「今月の主題」一覧

- 第51巻(2007年)
13 胎盤
第52巻(2008年)
1号 インフルエンザ診療のブレイクスルー
2 輸血の安全管理
3 アルツハイマー病の最近の進歩
4 歯科からみえる全身疾患
5 自己免疫疾患の診断
6 エピジェネティクスと臨床検査
7 腎移植
8 自然免疫と生体防御レクチン
9 アスベストと中皮腫
10 結核
11 (増刊号)ホルモンの病態異常と臨床検査
12 平衡機能検査
13 凝固制御
第53巻(2009年)
1号 ウイルス感染症—最新の動向
2 生体内微量元素
3 臨床検査コンサルテーション/診療支援
4 妊娠と臨床検査
5 免疫不全症候群と遺伝子異常
6 食中毒
7 唾液の臨床検査
8 漢方薬・生薬と臨床検査
9 脳磁図で何がわかるか?
10 血栓症と臨床検査
11 (増刊号)医療・福祉施設における感染制御と臨床検査
12 オートファジー

〔バックナンバーのお取り扱い〕

第51巻第13号以降は医学書院販売部がお取り扱いします。それ以前のは(株)東亜ブック(東京都豊島区池袋4-13-4、電話 03-3985-4701, FAX 03-3985-4703 <http://www.toabook.com/>, E-MAIL: st@toabook.com)がお取り扱いします。

臨床検査 (第53巻第13号)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

☎ 113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659・5660

振替口座 00170-9-96693

2009年12月15日発行(毎月1回15日発行)

定価 1,890円(本体1,800円+税5%)

2009年年度予約購読料 27,180円(送料弊社負担・増刊号を含む13冊)

電子ジャーナル閲覧オプション付 35,400円(税込)

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5712

ファクシミリ (03) 3815-7802/3815-7982

E-mail: rinshokensa@igaku-shoin.co.jp

担当 後藤・高口・能藤

印刷所 三美印刷(株) ☎ (03) 3803-3131

広告申込所 (株)東広社 ☎ (03) 3409-8803

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2009, Printed in Japan.
・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
・ **JCOPY** (社)出版者著作権管理機構 委託出版物
本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。
・ 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。
「臨床検査」URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinshokensa/>